

【別紙様式 3】

再評価実施事業調書

番号	8	事業名	都市公園事業		路線又は箇所名等		21世紀の森と広場		
事業所管課		公園緑地課			事業主体		松戸市		
事業化年度	昭和56年度	用地着手年度	昭和56年度	工事着手年度	昭和61年度	工事終了(認可)年度	平成20年度	再評価の理由	
費用便益比 B/C	4.35	総費用	776.85 億円	総便益	3,380.08 億円	基準年	平成20年	供用開始 年度	平成5年 度(一部)

【事業概要】

本公園は、「自然尊重型都市公園」として、自然と都市の調和を図り、よりよい都市環境の創造を目指し、昭和52年に策定された松戸市長期構想に基づき、本市のほぼ中心部（千駄堀地区）に位置する50.5haの総合公園です。

本事業は、昭和56年1月に都市計画決定を受け、同年6月には事業認可を取得し、順次整備を進めました。平成5年度には約4.1haを一部供用開始し、平成19年度末は約50.06ha（地権者の借地による起工承諾を含む）の供用開始となっています。

今後は、借地等の未買収地12.9haを買収するとともに施設の整備充実を図り、公園全域の整備完了を目指して、地域の自然環境を守り育て、多様化した市民の文化活動、レクリエーション活動の拠点となる公園づくりを行って行きます。

【事業の進捗状況】

	全体事業費	平成19年度末まで	平成20年度以降
全体	378.5億円	299.6億円 (79%)	78.9億円 (21%)
用地費	310.5億円	235.8億円 (76%)	74.7億円 (24%)
整備費	68.0億円	63.8億円 (94%)	4.2億円 (6%)

用地確保状況 全体面積 50.5ha 確保面積 37.6ha 未確保面積 12.9ha  
 既供用施設 自然生態園、自然観察舎、千駄堀池、野草園、パークセンター、アウトドアセンター、芝生広場、森の工芸館など  
 既供用面積 50.06ha【供用率 99.1%】

【社会経済情勢等】

- ・松戸市は、東京近郊という立地条件から宅地開発が進み、樹林地や空地が減少しています。その中で、本公園は、市の中心部に位置し、斜面林に囲まれた谷津と呼ばれる昔からの自然を、できる限り守り育てるという方針の基に公園整備を行っており、今日においても、1日1,000tの湧水が園内に流れ、ヘイケボタルやサワガニも生息しております。この貴重な自然環境を、未来を担う子ども達に残すという大きな役割を担っています。
- ・今日では地球規模による環境問題が提起されております。都市の中におけるみどりの大切さ、水の大切さについて、市民意識は高まっており、自然尊重型都市公園である21世紀の森と広場の必要性はますます高まっております。

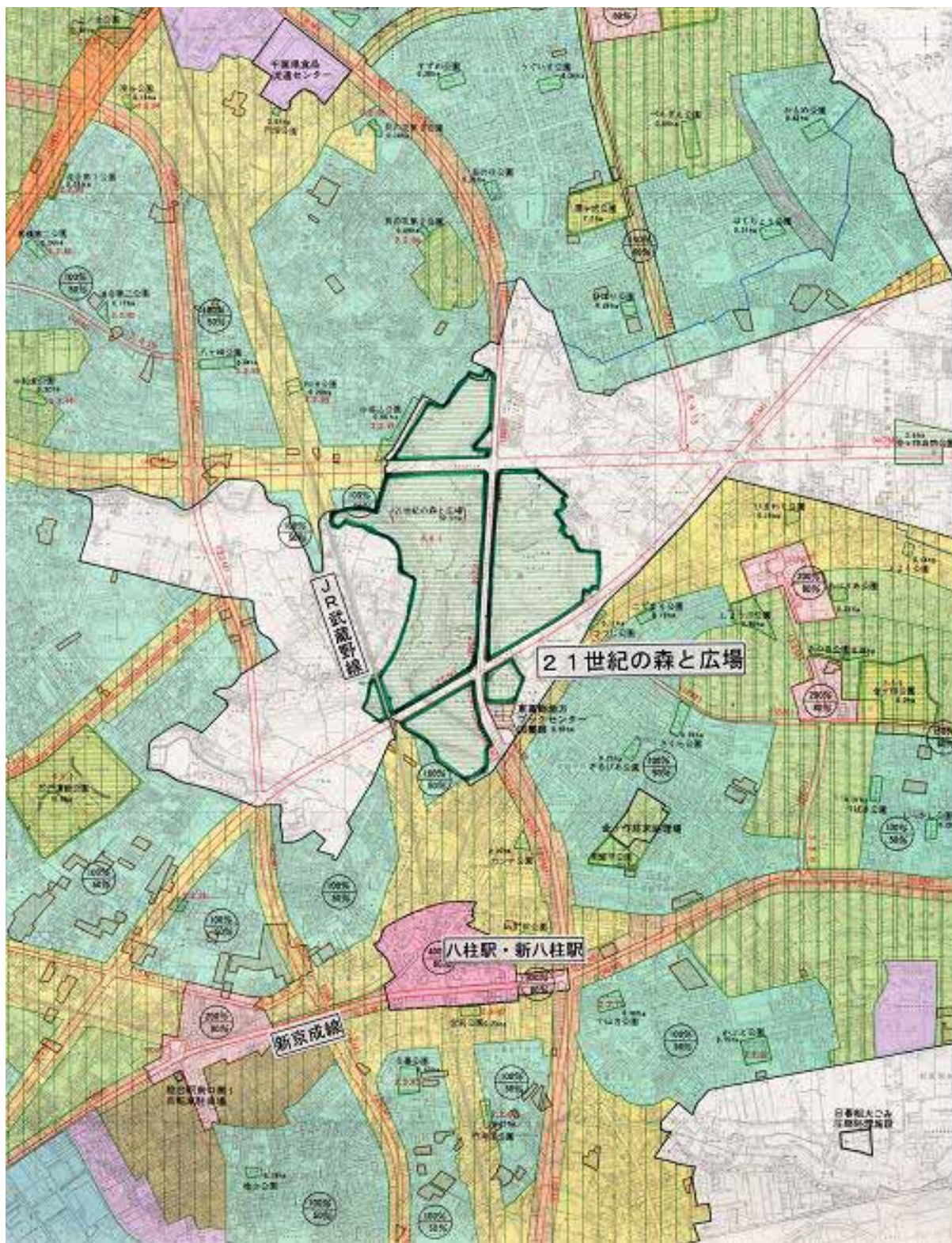
【対応方針(案)】

- ・今後の公園施設の整備については、利用者のニーズや将来的な公園運営を検討することにより、施設整備計画の見直しを行います。（管理棟、野外ステージ等の施設の規模縮小によるコスト削減）
- ・市民ボランティアとの協働で、将来にわたるより良い公園づくりを図ります。
- ・本公園は、市の広域避難地として指定されており、地域防災計画上の重要施設であります。
- ・早期開園を望む市民の要望に応えるため、事業用地を地権者から借地し、起工承諾を得て公園を整備し供用しているところですが、本事業は収用事業であり、最終的には事業用地を全て買収します。

以上、本公園は市の重要施設でありますので、事業を継続したいと思っております。

事業概要図

番号	8	事業名	都市公園事業	路線又は箇所名等	21世紀の森と広場
----	---	-----	--------	----------	-----------



事業概要図

番号	8	事業名	都市公園事業	路線又は箇所名等	21世紀の森と広場
----	---	-----	--------	----------	-----------



## 再々評価事業に関する調書

番号	8	事業名	都市公園事業	路線又は箇所名等	21世紀の森と広場	
事業化年度	昭和56年度	用地着手年度	昭和56年度	工事着手年度	昭和61年度	
<b>【再評価の概要】</b>						
再評価実施年度 (基準年)	平成15年度	供用開始年度	平成5年度 (一部)	対応方針	継続	
B / C	1.20	総費用	434億円	総便益	521億円	
再評価時の委員会の意見 及び当時の状況 「自然環境を十分配慮した公園づくりをしている。」との意見をいただき、事業の継続が妥当であるとの評価を得ました。						
再評価時の進捗状況及び再評価時想定5年後の進捗状況						
	計 画	進捗状況	5年後の想定進捗状況			
全体事業費	424億円	273億円	424億円			
用地取得面積	50.5ha	33.9ha	50.5ha			
供用面積(延長)	50.5ha	49.9ha	50.5ha			
<b>【再々評価の概要】</b>						
再評価実施年度 (基準年)	平成20年度	供用開始年度	平成5年度 (一部)	対応方針	継続	
B / C	4.35	総費用	776.85 億円	総便益	3,380.08 億円	
現在の進捗状況						
	計 画	進捗状況				
全体事業費	378.5億円	299.6億円				
用地取得面積	50.5ha	37.6ha				
供用面積(延長)	50.5ha	50.06ha				
再評価後の経過及び処理状況	<p>補助金をいただきながら毎年度用地買収を行い、最近の5年間(平成15年度～平成19年度)で約37,200㎡の用地を確保できました。</p> <p>平成16年度には、用地買収できた箇所の整備を実施し、その結果供用面積を50.06haに伸ばすことができました。</p> <p>しかしながら、用地買収の完了並びに全面供用までには至らず、事業完了までには今暫くの時間を必要としています。</p> <p>このことから、今年度(平成20年度)で期間が切れる事業認可の延伸をさせていただき、事業を継続したいと思っています。</p>					